

平成25年度宇都宮市立豊郷中央小学校 学校評価書

1 教育目標

「人間尊重の精神」を基盤に、激しい変化が予想される21世紀社会の担い手として、「心身ともに健康で、主体的に考え表現でき、ねばり強く頑張りぬき、自らの向上とよりよい社会の発展を目指し、たくましく生きる人間」の育成を図る。

*** 合言葉** ・かしこく ・なかよく ・たくましく

2 学校経営の理念（テーマ）

「子どもの笑顔と活気があり地域に開かれた信頼される学校」

子どもの健やかな成長のためには、学校生活の中で、「学習がよく分かる喜び」「自分の役割が分かり居場所のある喜び」「友達や先生と心が通い合う喜び」を味わわせることが大切であると考えます。

そのためには、教職員一人一人が組織の一員としての自覚を持ち、互いを思いやり、居がいのある職場の中で、学校目標達成に向けて同僚性を発揮していくことが望まれる。さらに、保護者や地域への時機を得た発信と共通理解の下での連携を推進し、地域に根ざした教育活動を展開することで、子ども一人一人の中に自己実現の喜びや自己肯定感などが育まれ、子どもの笑顔と活気のある楽しい学校を目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※地域学校園内で共通する方針は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

（1） 学校運営の適正化

- 教職員の学校経営への参画意識を高め、課題解決に向けて一人一人が考える組織づくり
- 全教職員の共通理解、課題意識の共有化
- 進捗状況、達成状況の把握と教育活動の工夫改善
- 課題や問題、事故等に対して、組織的かつ迅速に対応
(学年会、いじめ・不登校対策委員会、校内支援委員会)
- 効果的、効率的な学校運営
- 組織内の意思疎通に努め、支え合う職場風土の醸成

（2） 教職員の資質の向上

- 人権感覚の高揚、同僚性、協調性の発揮
- 積極的な研修への取組

（3） 学校学級経営の充実

- 居がいのある学級づくり
- 子どもの人間関係の構築
- 児童が安心して生き生きとした学校生活を送ることができる環境づくり
- いじめ防止対策の強化

（4） 学習指導の充実

- よく分かる授業を目指し、日常の学習指導の一層の改善
- 児童一人一人がよく聞き、互いを認め合い、学び合いのある授業
- 望ましい学習態度・学習習慣の形成
- 読書活動を一層推進

（5） 豊かな心の育成

- 「命あるものを大切に作る心」、「思いやりの心」を育てる働きかけ
- 豊かな心を育む教育環境の整備・充実

（6） 体力の増強と保健安全教育の充実

- 児童が主体的に取り組む体力づくり活動を推進
- 食育の充実（担任および栄養士）

（7） 児童指導の充実

- 児童の心に寄り添った指導の推進（個々の児童の理解、教育相談）
- 全教職員の共通理解による同一歩調での指導の徹底
- 人と関わる力や社会性を培う活動の充実
- 基本的な生活習慣の定着

- ・ 縦割り班活動などの集団活動や交流教育の充実、ボランティア活動の推進
 - 児童の主体的な活動の推進
 - ・ 特別活動の充実
 - 企画委員会、学年会、校内支援委員会の充実
- (8) 家庭・地域との連携及び聞かれた学校づくり
- 魅力ある学校づくり地域協議会、地域人材の活用
 - 積極的な情報発信
 - 効果的な授業参観、オープンスクールの実施

4 今年度の重点目標（短期的視点）※地域学校園内で共通する目標は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- 【学 校 運 営】・子どもの笑顔と活気があり地域に開かれた信頼される学校
- 【学 習 指 導】・教職員や地域の教育力を生かした、基礎・基本の徹底と表現力の育成
- 【道徳教育（児童生徒指導）】・人権尊重を基盤にした、心豊かで思いやりがあり、他人に奉仕できる児童の育成
- 【健康（保健安全・食育）・体力】・健康と安全の意識を高め、何事にも元気にたくましく頑張りぬく児童の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※地域学校園内で共通する取組は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 児童の肯定的回答90%以上	・ 全教職員が学校生活全体を通して、成就感や達成感を持つことができるように、子ども一人一人に応じた支援やよさを認め伸ばす指導・支援に誠意をもって取り組む。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 92.5% 【次年度の方針】 ・ 全教職員が、学校経営方針に基づいた学校の運営に積極的に参画し、今年度同様に取り組んでいく。
	A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 児童の肯定的回答90%以上	・ 全教職員が共通理解の下、同一歩調で協力して学習や諸活動の教育に当たる。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 97.9% 【次年度の方針】 ・ 引き続き、同一歩調で協力して学習や諸活動の教育に当たり、児童の「知・徳・体」の向上を図る。
	A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 児童の肯定的回答80%以上	・ <u>年2回(7月・1月)「みんなのやくそく強化週間」を実施し、基本的な生活習慣を朝の会で確認しあい、さらに定着させる。</u> ・ 道徳の授業の充実を図るとともに、日常生活の中で機会を捉えてきまりを守ることの大切さに気づかせる。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 75.4% 【次年度の方針】 ・ 昨年度より肯定的回答が若干ではあるが増えている。しかし、数値目標には達していないことから、さらに生活のきまりやマナーについて意識させていくための工夫改善を全職員で取り組んでいく必要がある。
	A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 (小中教職員の乗り入れ授業の展開) 【数値指標】 児童の肯定的回答90%以上	・ 学習内容の工夫、指導法の改善、効果的な教材の使用や指導体制指導形態の工夫を行い、より分かりやすい授業を展開し学力の向上を図っていく。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 93.2% 【次年度の方針】 ・ 引き続き、わかりやすい授業を展開し、学力の向上を図るために、学習内容の工夫、指導法の改善、効果的な教材開発に心がけていく。

教育活動の状況		A5 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 保護者の肯定的回答 90%以上	・ 週案で時数管理を行うことにより、教育課程が適切に実施されるようにする。 ・ 学校行事の計画を会議等で昨年度の反省を生かす協議を行い、適切な運営が実施できるよう心がける。	B	【達成状況】 保護者の肯定的回答 96.9% 【次年度の方針】 ・ 行事や各種活動の関連性を考慮しながら効率的かつ効果的に教育課程を編成し、運用していく。
		A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。(学校園内の職員による相互授業参観の実施) 【数値指標】 保護者の肯定的回答 90%以上	・ 保護者や地域の方に年3回の授業参観や年2回のオープンスクール、また学校・学年行事への参加の呼びかけをとおして、学校の様子を見てもらう。 さらに、学校だよりやホームページなどで各教育活動の趣旨や取り組みなどの様子も含め、情報を発信し学校への理解を深める。	B	【達成状況】 保護者の肯定的回答 95.6% 【次年度の方針】 ・ オープンスクールや授業参観のほか、学年行事や学習活動を保護者や地域の方により多く参加してもらう場を設定していく。
		A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 85%以上	・ 保護者や地域のボランティアによる教育活動への支援などをとおして、<u>地域との連携</u>を図っていく。また、効果的な出前授業等を積極的に活用する。	B	【達成状況】 保護者の肯定的回答 91.6% 【次年度の方針】 ・ 今年度同様、地域の人材を有効に活用するとともに、関係機関との連携をさらに密にしていく。
		A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 80%以上	・ 月1回の安全点検を実施し、安全な施設・設備の維持管理に努める。また、教材教具の充実を図り学習しやすい環境を整える。	B	【達成状況】 保護者の肯定的回答 89.1% 【次年度の方針】 ・ 本校のトイレ事情については、引き続き市に改善要望をする。
		B1 居がいのある職場づくりに努める。	・ 職員間における協調性と謙虚さを持ちながら、誠実な勤務実践に努め、笑顔あふれる潤いのある職場づくりに一人一人が心がける。	B	【次年度の方針】 ・ 全職員がお互いのよさを理解し、個々のよさが生かされる職場づくり、明るい雰囲気づくりに努める。
	生徒生活	A9 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 児童の肯定的回答 80%以上	・ <u>地域ぐるみのあいさつ運動を展開</u>するとともに、校内でも「あいさつ運動」を実施し、教職員が進んであいさつしたり言葉かけをしたりして、気持ちのよいあいさつができるような雰囲気づくりに努める。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 80.8% 【次年度の方針】 ・ 学校目標にある「にこハイ」を校内一丸となって進め、特に表彰時など全体の前で堂々と返事やあいさつができるように言葉かけをしていく。
		A10 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 児童の肯定的回答 80%以上	・ 生活全般で、全職員で、<u>望ましい言葉づかいや相手の思いやる言動</u>などを継続して丁寧に指導する。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 75.1% 【次年度の方針】 ・ 「ふわふわことば」として相手を思いやる言動と正しい言葉遣いを常日頃から指導していく。
		B2 自他の生命を尊重し <u>思いやり</u> の心をもって行動している。	・ 人権週間や読書タイムの充実を図ったり、心を育てる指導を工夫したりして、人権意識を高めるとともに、相手を思いやる心を育てる。	B	【次年度の方針】 ・ 3年生の総合学習「ちえのわ」の講話や5年生の人権講話など、今後も継続していく。また、常日頃から人権意識について児童に意識させるようにする。

健康・体力	A11 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 児童の肯定的回答80%以上	・ 日常の給食指導のほか、各教科での食育との連携を図り、給食を残らず食べようとする気持ちを育てる。また、保護者への啓発を行い、食育の充実を推進する。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 90.1% 【次年度の方針】 ・ 好き嫌いを少しずつ改善できるように児童に声かけをし、保護者とも連携を図っていく。
	A12 児童は、 <u>進んで運動する習慣を身に付けている。</u> 【数値指標】 児童の肯定的回答80%以上	・ <u>「とよおうサーキット」を実践し、個に応じた助言を行うことにより、基礎体力の向上を図る。</u> ・ 学年全体でミニマム達成状況の向上を目指した指導を行う。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 77.0% 【次年度の方針】 ・ 「とよおうサーキット」の内容の見直しや、「元気っ子プロジェクト」のミニマム達成状況の考察などにより運動の喜びを児童に身につけさせていく。
	B3 進んで体を動かそうとしている。	・ 学級で共遊の時間を設定するなど、体を動かす楽しさを味わわせる。また、縦割り集会では縦割り班で行う楽しい遊びを紹介し、体を動かして遊ぶ楽しさを体験させていく。	B	【次年度の方針】 ・ 児童会の縦割り集会や学年での学級対抗スポーツ大会などにより、体を動かして遊ぶ楽しさを体験させていく。
学習	A13 児童は、 <u>進んで学習に取り組んでいる。</u> 【数値指標】 児童の肯定的回答80%以上	・ <u>「できた」「わかった」という実感がもてるような学習活動を工夫する。</u> また、子どものよさや活力を生かした授業の展開を実践する。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 86.0% 【次年度の方針】 ・ 「できる」「わかった」が児童に実感できるように、学習のねらい、めあてを明確に提示する。
	A14 児童は、 <u>落ち着いて学習に取り組んでいる。</u> 【数値指標】 児童の肯定的回答80%以上	・ <u>学習のきまりを継続して指導し、基礎基本の確実な定着に努めるとともに、集中して取り組めるような指導を工夫する。</u>	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 80.5% 【次年度の方針】 ・ 「学習のきまり」の重点化を図り、学習スキルの確実な定着に努めるとともに、学習意欲を向上させていく。
本校の特色・課題等	B4 <u>学校・家庭・地域との連携を図った活動の充実</u>	・ <u>地域の文化財や特色を生かした教育活動をさらに充実させるために、年間計画の見直しや事前の計画的な準備、打合せを十分に持ち、効果的な体験活動やふれ合い活動を進めて、地域を理解し親しむ児童を育てていく。</u>	B	【次年度の方針】 ・ 引き続き、地域の文化財や人材を生かした体験学習を積極的に企画し、地域や家庭との連携を密にして、児童の地域理解を育てていく。

〔総合的な評価〕

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

- ・多くの項目が肯定的回答（「とても思う」と「まあ思う」を合わせたもの）の数値目標を上回る高い評価だった。
- ・A3の「きまりやマナーを守る」については、児童の意識が、少しでも守られていないと肯定的に捉えないというような厳しい評価をしているので75.4%となったのではないと思われる。なお今後、児童の守られていないと認識しているきまりやマナーを分析し、今後向上するように児童に意識化させていく。
- A9の「あいさつ」に関しては、保護者・教職員ともに評価は低い、あいさつをする児童は増えてきている。ただ、相手に聞こえる元気なあいさつを心がけさせたい。また、学校目標にある「にこハイ」を校内一丸となって進め、特に表彰時など全体の前で堂々と返事やあいさつができるように言葉かけをしていく。さらに、学校園でのあいさつ運動に積極的に参加していく。

- ・ A10 の「言葉遣い」に関しても、保護者・教職員・児童ともに評価が低い。今後は、望ましい言葉づかいや相手を思いやる言動について保護者と連携して指導にあたっていきたい。人権教育、道徳の指導の充実も図っていきたい。
- A12 の「食べ物の好き嫌い」では、給食指導等で「食育」を進めており、少しずつではあるが、児童が好き嫌いなく食べるようになってきている。今後も、さらに学校園間の栄養士とも連携した授業や保護者と連携した「食育」の取り組みを充実させていきたい。

6 学校関係者評価

- ・ A1 の保護者の満足度が96.5%というのがすばらしい。学校経営の方針に教職員が一丸となって取り組んでいる結果だと思う。また、先生方が児童に熱心に指導していることを保護者が理解し、学校教育に対し高い評価をしていると考えてよい。
- ・ 子どもたちは、マナーやルールについて自分に厳しく評価しているようである。
- ・ 教職員や保護者のあいさつの肯定的回答率が低いことに関しては、社会全体が他人と会話やふれあいが少なくなっていることもあると感じている。
- ・ あいさつするときに相手の目を見て笑顔ですることが大切である。急に知らない人にあいさつされても児童はあいさつできないと思う。大人でも、躊躇する。回数を重ねると違うと思う。
- ・ あいさつについては、来年度も地域協議会としてさらに盛り上げていきたいと思う。
- ・ 給食の好き嫌いについては、家庭における食生活の習慣が大きなウエイトを占めていると思う。今後、学校と家庭が一体となって取り組んでほしい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・ 次年度も引き続き、「子どもの笑顔と活気があり地域に開かれた信頼される学校」をめざし、教職員が共通理解しながら様々な学習や諸活動で一人一人の児童がよさを発揮できるようにし、活気のある明るい雰囲気のある学校に努める。
- ・ 日常生活の中で「みんなのやくそく」や「学習のきまり」を活用した指導と、望ましい言葉づかいや相手を思いやる言動などを全校体制で指導にあたり、ルールを守るという意識をより育みたい。
- 学校園のあいさつ運動を始め、校内あいさつ運動を児童会の活動をとおして、あいさつできる児童を育てていく。
- ・ 教職員は、児童の言葉遣いについてその都度指導してきているが、保護者や地域の方とも連携をとりながらさらに推進していきたい。
- ・ 企業や近隣高校・大学の方々の高い技術や知識を生かした授業や、保護者や地域の方々の積極的な授業への参加など地域の文化財や特色を生かした教育活動をさらに充実させ、地域を理解し地域に親しむ児童を育てていく。
- ・ 学校環境の整備については、日頃から施設の点検や迅速な修理の他、教室や廊下の壁面が教育にふさわしい環境になるように努め、教職員も放課後の教室・廊下の整理整頓・トイレ清掃を徹底するなどの他、児童とともに清掃を行うなどして、自分たちの学校をきれいにする意識態度を育てていく。
- ・ 「学校だより」を始め「図書館だより」「保健室だより」「食育だより」「学年だより」等により、学校の取り組みを家庭や地域の方々に分かりやすく知らせ、理解・協力を得るようにしていく。
- ・ 豊郷中央小学校地域協議会と連携しながら、地域に根ざした特色ある教育活動を推進していく。